

特集

豊かな森林を守り育てる森林環境税

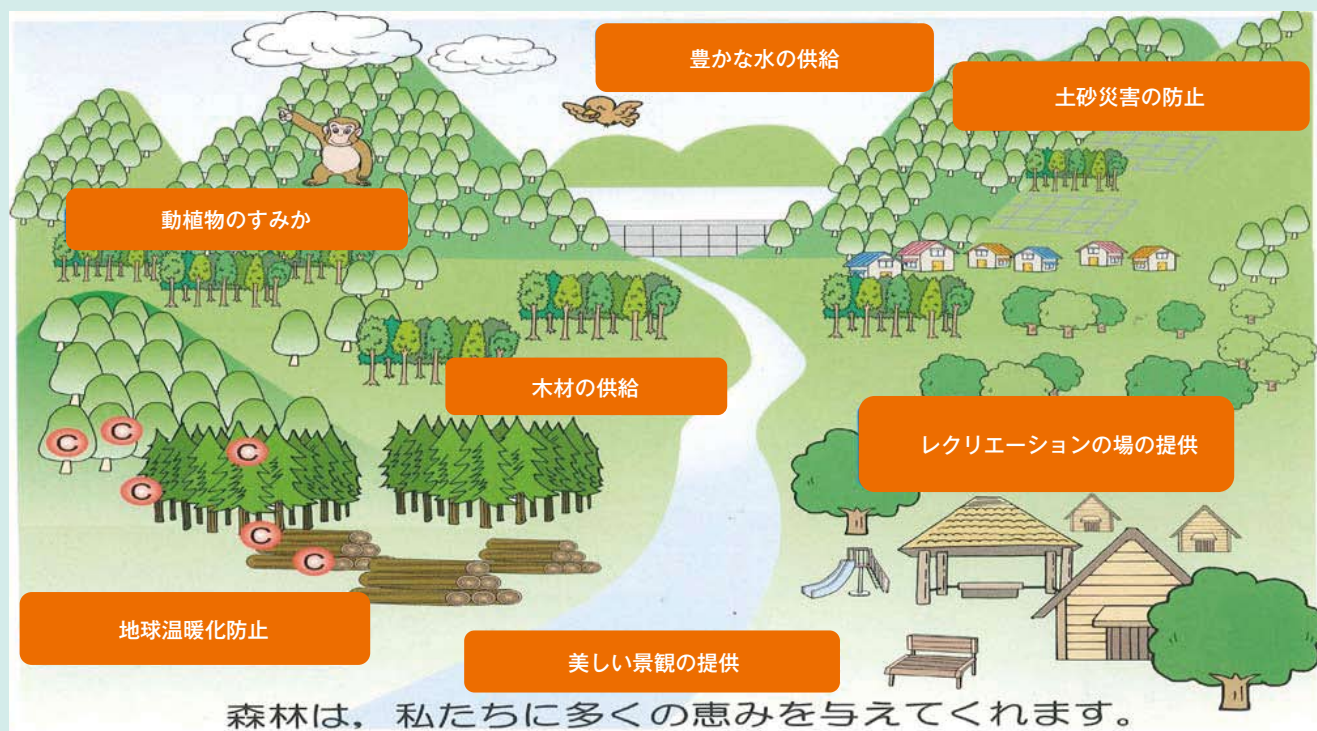
～森林環境の保全と

森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を目指して～



森林のはたらき

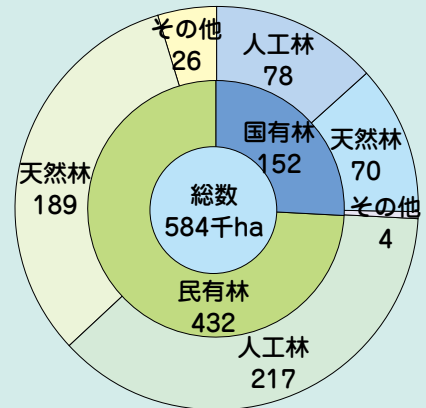
森林は、木材をはじめとする林産物をもたらすほか、県土を守り、清らかな水や美しい景観、保健休養の場を提供してくれるとともに、生物多様性の保全など様々な機能を有し、さらに近年は、地球温暖化の主な原因とされている二酸化炭素を吸収・貯蔵するはたらきに対する期待も一層高まるなど、安心・安全な県民の生活になくてはならない県民共有の財産となっています。



鹿児島県の森林の概要

- 本県の森林面積は、584千haで県土の約64%を占めており、九州第1位（全国第12位）となっています。（平成24年3月末現在）
- 人工林面積は295千haで九州第2位（全国第9位）となっています。
- 人工林のうち間伐を必要とする森林（16～45年生）が全体の6割を占めています。
健全な森林に育成するためには、間伐などの森林整備を推進していく必要があります。
- 県内のスギ・ヒノキの人工林が利用可能な資源（31年生以上が約9割）として着実に充実してきていることから、県産材の需要拡大を図る必要があります。

鹿児島県の森林面積



森林環境税の概要

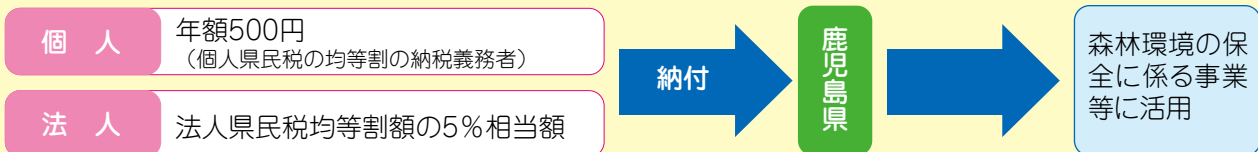
何のための税？

森林環境税は、県土の保全、水源のかん養など森林の有する公益的な機能の重要性にかんがみ県民の皆様の理解と協力の下に、森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策を推進するため、森林環境税条例により、平成17年4月に導入されました。

平成21年度までの第1期5か年の成果などを踏まえ、適用期間を平成22年度以降5年間延長し、取組を進めています。

森林環境税と同様の制度については、平成24年4月現在で、33県が導入しています。

税の仕組みは？



森林環境税のシンボルマークの制定

平成22年9月には、森林環境税を活用した事業を広く周知するため、一般公募によりシンボルマークを決定しました。

デザインのコンセプト

鹿児島県土を図案化し緑の大地にみたと、そこに育つ森林をみんなで守ろうというイメージ



森林環境税を活用した事業概要

「森林にまなび森林にふれあう」

森林とのふれあいや森林づくりを体験するイベントを開催するとともに、小・中学校等における森林環境教育を推進します。また、県民の皆さまが実践する森林・林業に関する学習・体験活動や森林づくり活動を支援し、『県民参加の森林づくり』を目指します。



取組 ①

森林・林業にふれあう 機会の創出

森林・林業に関する関心と理解を深めていただくためのイベントを開催します。また、県民の皆さまが自ら企画・実施する森林・林業に関する学習・体験活動を支援します。



【みどりの感謝祭(体験教室)】

- みどりの感謝祭の開催
- 九州森林の日の活動
- 森林・林業に関する学習・体験活動の支援

助成事業 | ■森林の体験活動支援事業



取組 ②

未来につなぐ森林環境 教育の推進

将来を担う子どもたちへの森林環境教育活動を推進します。



【学校における森林環境教育】

- 小中学校での森林環境教育の実施
- 森林環境教育指導者養成研修の開催
- 緑の少年団活動の推進
- 学校環境緑化・学校林等活动コンクールの開催



取組 ③

多様な主体による森林整備の推進

森林づくりを実践する方々の活動を応援します。

- 企業が行う森林づくり活動の推進
- 森林ボランティアの育成(技術研修会の開催)
- 森林ボランティア団体が企画し、実施する森林づくり活動の支援

助成事業 | ■森林づくり活動支援事業



【森林ボランティア技術研修】



【企業による森林ボランティア活動】



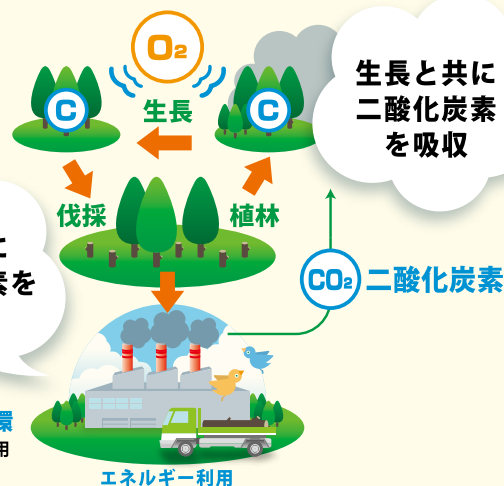
取組 ④

木質バイオマス有効利用の促進

林地に残った未利用材などを化石燃料の代替燃料として有効利用することが、健全な森林づくりや地球温暖化防止につながることを広くPRし、木質バイオマスの利用促進を図ります。

- 安定供給体制の整備
- 新たな利用可能性の調査・検討

木質バイオマス利用における二酸化炭素の循環
低質の間伐材や製材工場残材などのエネルギー利用



「森林をまもり森林をそだてる」

森林づくりの更なる推進により、地球温暖化の防止や土砂災害を防ぐなど『森林の持つ大切な働き』の維持・向上を図ります。

また、健全な森林づくりにつながる『県産材の利用』を推進します。



取組 ⑤ 健全な森林づくりの推進



【間伐が遅れた森林】



【整備された森林】

地球温暖化防止など森林の持つ様々な機能を維持・向上させるため、間伐や植栽等の森林整備を更に推進します。

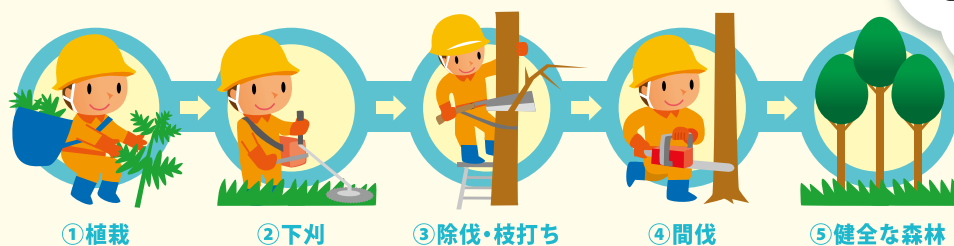


【公益上重要な里山林のマツ枯損木の除去】

補助事業

- 里山林機能回復事業
- 森林環境整備事業
- 地域森林環境づくり促進事業

健全な森林を育てるには…



もり
森林を手入れし、
林内に光を入れる
ことが大切なんだ！



取組 ⑥ 森林の適正な整備につながる県産材利用の推進

県産材の利用は、地球温暖化防止への貢献と地域の森林づくりの推進につながることから、モデル的な木造施設の整備や木製品の開発を支援します。



【木のあふれる街づくりの推進】

木材利用による地球温暖化防止への貢献度

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
炭素貯蔵量	 6炭素トン	 1.5炭素トン	 1.6炭素トン
材料製造時の炭素放出量	 5.1炭素トン	 14.7炭素トン	 21.8炭素トン

【資料】「炭素ストック、CO₂放出の観点から見た木造住宅建設の評価」木林工業Vol.53、No.41998

助成事業 | ■木のあふれる街づくり事業